

- 緊急時モニタリングによる実測値に基づいて迅速に防護措置を講ずる区域を特定できるよう、原子力災害対策重点区域における全ての一時移転等の実施単位毎に緊急時モニタリング地点を設定する必要がある。
- 北海道では既設モニタリングポスト等を含め緊急時モニタリング地点83地点（PAZを除く）を設定し、一時移転等の実施単位毎に関連付けを行っている。なお、全ての測定局について非常用電源を装備しているほか、故障等に備え、可搬型モニタリングポスト等を保有している。

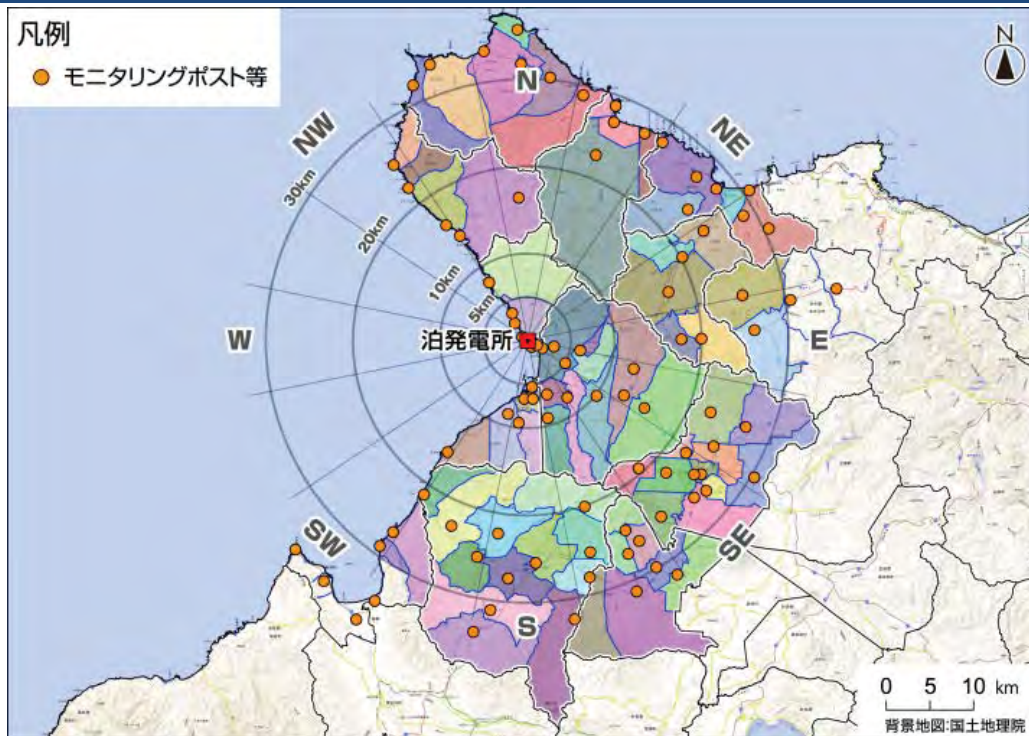


図 泊地域における緊急時モニタリング地点と一時移転等の実施単位

105

北海道電力による緊急時モニタリング

北海道電力は、原子力災害対策指針に基づき、以下のとおり敷地内においてモニタリングを実施。

- モニタリングステーション及びモニタリングポスト
 - ・モニタリングステーション及びモニタリングポスト(計8局)で、発電所敷地境界付近の空間放射線量率を測定
 - ・モニタリングステーション(1局)で、発電所敷地境界付近の大気中の放射性物質濃度測定用の試料を採取
 - ※電源等の喪失が発生しても測定や伝送が中断しないよう、非常用電源や通信回線の強化を実施
 - ・万一、モニタリングステーション等が使えなくなった場合に備え、可搬型モニタリングポストを別途配備(8台)
 - 可搬型モニタリングポスト
 - ・施設敷地緊急事態が発生した場合、可搬型モニタリングポスト(4台)を設置して、モニタリングステーション等とあわせて原子炉格納施設を囲む12箇所空間放射線量率を測定
 - さらに、モニタリングカー(1台)、可搬型モニタリングポスト及びサーベイメータ等を搭載する車両(1台)を配備
- また、北海道電力は、北海道等との安全協定に基づくモニタリングポスト(1局)を配備しているとともに、北海道地域防災計画に基づき北海道へモニタリングカー(1台)、可搬型モニタリングポスト(7台)等の貸与等を行う。



モニタリングステーション等【9局】



可搬型モニタリングポスト【19台】
(衛星電話による通信機能付)



モニタリングカー【2台】



可搬型モニタリングポストおよび
サーベイメータ等を搭載する車両【1台】



(サーベイメータ)

(可搬型ダストサンプリャ)

車両に搭載するサーベイメータ等の例

106

9. 原子力災害時の医療の実施体制 (安定ヨ素剤、避難退域時検査・簡易除染を含む)

PAZ内（泊村）住民に対する安定ヨ素剤の事前配布

- 北海道及び泊村では、PAZ内住民を対象に住民説明会を開催。
- 泊村では、安定ヨ素剤の事前配布を実施。平成29年5月21日現在、1,070人に配布済み。
- 今後も継続して説明会を開催し、転入者等への配布や薬剤の更新等を実施。



地区名	対象住民数	配布者数
ほりかつぶ 堀株地域	127人	108人
しぶい 渋井地域	196人	163人
かやぬま 茅沼地域	351人	287人
うすべつ 臼別地域	182人	143人
第一地域	37人	33人
第二地域	104人	93人
第三地域	145人	133人
てるまし 照岸地域	120人	110人
合計	1,262人	1,070人

＜安定ヨ素剤事前配布説明会＞

北海道及び泊村により、安定ヨ素剤の効能や服用時期など、事前配布に際し知っておくべき事項を説明。



PAZ内（共和町）住民に対する安定ヨウ素剤の緊急配布

- 共和町では、避難を行う際にバス集合場所にて安定ヨウ素剤を緊急配布することとしており、そのため、北海道とともにPAZ内住民を対象に安定ヨウ素剤の配布・服用に係る事前問診を行っている。
- 平成29年5月25日現在、933人の事前問診を完了しており、今後も継続して説明会を開催し、事前問診を実施。



安定ヨウ素剤の緊急配布場所（バス集合場所）	対象住民数	問診済住民数
宮丘地区寿の家	81人	59人
北辰小学校	21人	14人
ビンヤムナイ会館	65人	61人
発足コミュニティセンター	155人	145人
はまなす幼児センター	332人	250人
発足克雷管理センター	161人	117人
北電体育館	319人	287人
合計	1,134人	933人

<安定ヨウ素剤緊急配布（訓練風景）>

共和町により、避難用バス乗車時に事前に実施した問診に基づき安定ヨウ素剤を配布。



避難住民等に対する安定ヨウ素剤の備蓄状況と緊急配布

- 避難住民等に対する安定ヨウ素剤の緊急配布に備え、北海道は計17箇所の施設に合計約714,000丸の丸剤と約2,000gの粉末剤及び乳幼児向けのゼリー状安定ヨウ素剤4,060包を備蓄。（平成29年4月1日現在）
- 緊急配布が必要となった場合には、備蓄場所より各町村が指定するバス集合場所（計94箇所）及び避難退域時検査場所（候補地計27箇所）に搬送の上、対象住民等に順次配布を実施。なお、避難退域時検査場所に近接する寿都町、蘭越町及びニセコ町については、発災時に北海道が指定する避難退域時検査場所で、対象住民等に順次配布を実施。



安定ヨウ素剤備蓄場所

北海道：17箇所

道及び町村職員により、安定ヨウ素剤の搬送を実施

安定ヨウ素剤の緊急配布を実施

各町村が指定するバス集合場所で緊急配布※1
（計94箇所）

- | | |
|----------|----------|
| 泊村：3箇所 | 積丹町：1箇所 |
| 共和町：21箇所 | 古平町：9箇所 |
| 岩内町：14箇所 | 仁木町：1箇所 |
| 神恵内村：5箇所 | 余市町：26箇所 |
| 倶知安町：9箇所 | 赤井川村：5箇所 |

避難退域時検査場所で緊急配布※2

- 寿都町：候補地3箇所 蘭越町：候補地5箇所
ニセコ町：候補地4箇所

※1：バス集合場所等で緊急配布する10町村の住民は、避難退域時検査場所（候補地計27箇所）でも緊急配布を受けられる
※2：避難退域時検査場所での配布については、候補地のうち発災時に北海道が指定する箇所において配布